

# SSH通信

～第Ⅲ期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.1 発行 2025.6.30

## TISF 化学部門3等賞！

(2025.1.21-26)



2025年1月に行われたTISF (Taiwan International Science Fair) で自然科学部化学班の生徒2名が研究テーマ「水酸化鉄(III)コロイド生成におけるガラス着色の研究」で化学部門3等賞を受賞しました。日本の高校生を代表し、日頃の研究成果を堂々と発表することができました。

また、1週間を超える滞在期間の中で、ポスターセッションのみならず、各国の文化を紹介するカルチャーナイトや、研究施設見学など、数多くの貴重な機会を経験することができました。

### 「TISFを終えて」 (理数科3年2組 濱島航宙さん(栗原南中学校出身))



1月19日から1月25日にかけて、台湾で行われたTISFに参加してきました。世界中の高校生が集まって交流し、自分たちの研究について発表しました。台湾独自の歴史や文化に触れる機会にもなり、自分たちの視野を広げる体験でした。すべての発表を英語で行うという初めての経験に戸惑うことも多かったですが、様々な分野の研究について知ることや、違う国の同じ世代の高校生と研究について話すことができ、とても貴重な経験になったと感じました。

## つくばScience Edgeに参加！

(2025.3.28-29)

2025年3月28-29日に、茨城県つくば市で行われた『つくばScience Edge 2025』に、本校自然科学部から3班が参加しました。国内外問わず、300を超えるチームによる大規模なポスターセッションが展開されました。選りすぐりの代表班発表では、化学や物理に加え、農業に関する研究発表を聴講することができ、大変刺激となりました。ポスターセッションでは、本校生徒が他の高校生と活発に意見交換している姿が印象的でした。中でも、2年1組の伊藤天伽さんがブースポスター賞を受賞するなど、その研究内容が高く評価され、収穫のある2日間となりました。



### 「サイエンスエッジ」 (理数科2年1組 伊藤天伽さん(館中学校出身))

令和7年3月28から29日にかけて、つくば国際会議場で開催されたつくばScience Edge 2025 に出場してきました。日本に加え、海外諸国からの参加もあり、日本語と英語による発表を行いました。そこで『氷と塩からみえたエウロパの世界 -カオス地形のメカニズム-』の研究でブースポスター賞(上位7位/320件)を頂きました。これらの活動を通じ、柔軟な想像力を持つ方々と出会い、自身の思考に対して強い示唆が得られました。この経験を高校生活の推進力に変換し、社会に羽ばたくような人材になれるように努力をしていきたいです。

# 探究活動の集大成!『三高探究の日』開催!



5月15日(木)に、本校を会場とし、『三高探究の日』が行われました。3年生の探究班、自然科学班が中心となり、これまでの探究・研究活動の成果発表を行いました。他校生徒から大学の先生方まで、多くの方々にご来校いただきました。冒頭で行われた代表班発表では、3年生理数科と普通科、そして自然科学部から1班ずつ選ばれました。1000人を超えるオーディエンスの前で探究活動の発表を行い、活発な質疑応答や、大学の先生方による示唆に富んだ指導助言など、充実した発表交流でした。ポスター発表では、3年生全ての探究班が発表を行い、1,2年生は今後の探究活動に対するイメージを持つことができました。午後は2年生普通科が、今後本格化する探究の概要を3分間で発表する「3mins」を行い、3年生から多くの助言や示唆を得られました。

同時進行で行われた海外校との発表交流では、台湾の明道高級中学と、本校理数科の代表班が、互いの研究内容を英語によって発表し合いました。発表に加え、互いに活発な質疑応答を行いながら、国を超えたアカデミックコミュニケーションが実現でき、発表者と聴衆にとって貴重な経験となりました。

## 探究の集大成 (普通科3年4組 石井 心羽さん(長町中学校出身))

今回の探究の日は、探究活動の締めくくりということで緊張しましたが、これまでの成果を堂々と発表することができました。代表発表やポスター発表では、私たちの班が取り組んできた海洋ごみ問題への向き合い方や、この問題に対する思いを、多くの方に届けることができました。また、発表を通じてアドバイスし合う中で、新たな気づきを得ることができ、良い刺激になりました。今回の探究発表が私たち三年生にとっては最後だったため、寂しく、まだ挑戦し足りない思いもありましたが、今後は自身の探究で学んだ視点を生かして、後輩たちの探究をサポートしていきたいと思っています。



## 新たな視点 (普通科3年7組 末 紫織さん(仙台青陵中等教育学校出身))



探究の日での口頭発表を通じて、今まで行っていた探究活動を整理できました。障がいのある方の選挙というテーマで探究を行い、自分たちで考えた解決策を発表する中で新しい視点を獲得することができました。自分たちでは気づかなかった視点からの質問が多くあり、一つの物事に対する視点は多様なのだと感じました。探究活動を通して、同じ人とだけでなく、普段関わらない人とも話し合うことの大切さを学べたと思います。

## 海外校との英語発表を通して (理数科3年2組 藤田 滉也さん(仙台二中出身))

三高探究の日では、私たちの班が代表として台湾の台中市の高校とオンラインで英語による研究発表を行いました。多くのクラスメイトが見守る中での発表で、台湾の生徒たちはZoomを通じて参加しました。全編英語で進行する中、GLC(理数科限定の東北大学留学生との英語セッション)や修学旅行(台湾)での現地での発表練習の成果を実感することができました。海外の同世代に自分の考えを伝え、大勢の前で第二言語を用いて質問を交わした経験は、非常に貴重で刺激的なものでした。SSHコーディネーターの石澤公明先生をはじめとする大学の先生方、ご助言をありがとうございました。

